

2025年3月期第3四半期 業績補足説明資料



コード：5985
2025年2月14日

AGENDA

I. 2025年3月期第3四半期 決算概要

II. 2025年3月期 業績見通し

データセンター向け需要が回復基調であり電子情報通信分野が好調

✓ 売上高	47,124百万円（前年同期比+8,585百万円/+22.3%）
✓ 営業利益	2,090百万円（前年同期比+4,516百万円/－%）
✓ 経常利益	1,661百万円（前年同期比+3,499百万円/－%）
✓ 当期純利益	87百万円（前年同期比+3,941百万円/－%）

EV関連製品

売上高前年同期比▲13.5%

- EV販売停滞の影響により前年同期比減収。

電子情報通信分野

売上高前年同期比+86.1%

- HDD用サスペンション
データセンター向け需要が回復基調であり前年同期比増収。
- プリンター関連
需要が堅調であり前年同期比増収。
- 通信関連
データセンター向け需要が回復基調であり北米・アジアで前年同期比大幅増収。

既存自動車分野

売上高前年同期比+1.0%

- 材料関連
主要顧客の受注増加により前年同期比増収。
- 自動車関連
自動車生産は回復傾向だが、販売停滞の影響により前年同期比微減。

2025年3月期第3四半期 決算概要

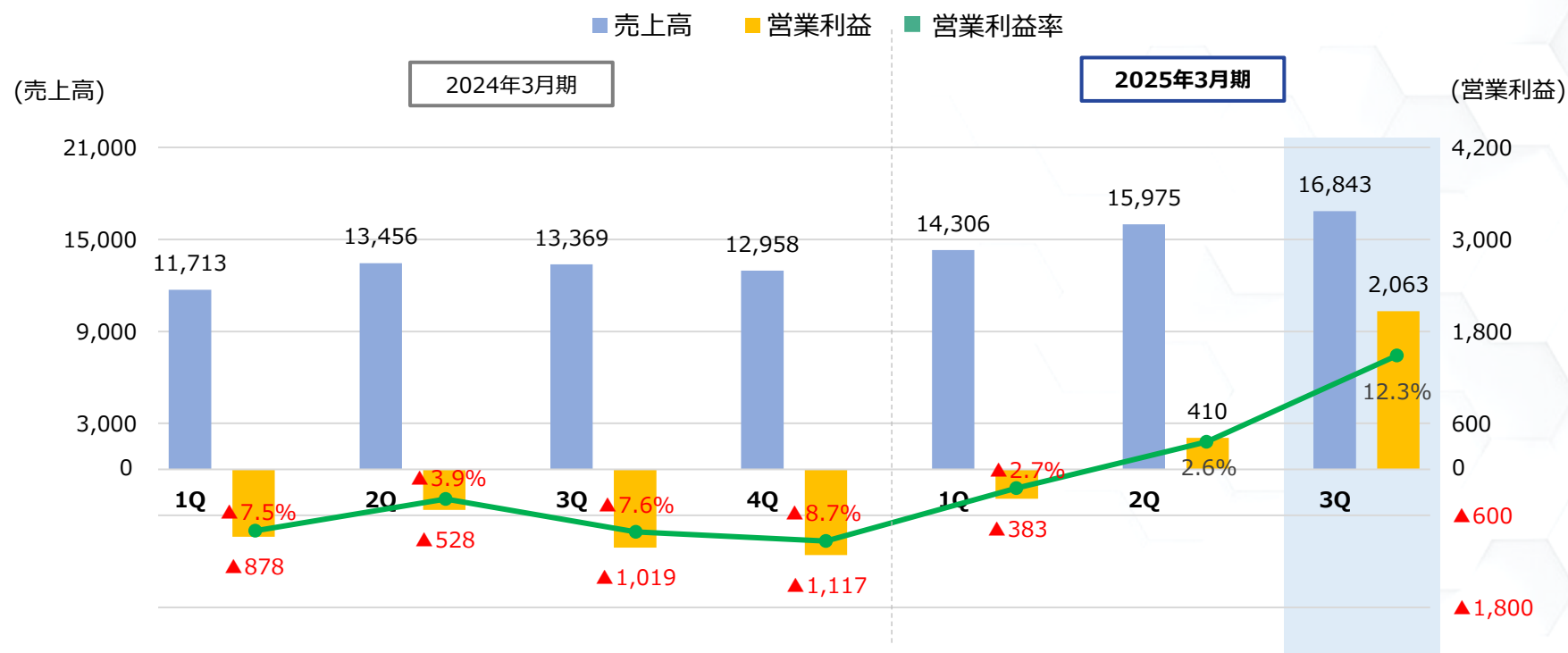
✓ 売上高	データセンター向け需要が回復基調であり電子情報通信分野の売上が増加。前年同期比+22.3%増収。
✓ 営業利益	上記、電子情報通信分野の増収による増益に加え、HDDサスペンションの訴訟対応費用の減少及び前期固定資産減損による償却負担の減少等により前年同期比+45.1億円増益。
✓ 経常利益	受取配当金124百万円、作業屑売却益145百万円、支払利息244百万円、持分法による投資損失149百万円、為替差損274百万円他を計上。
✓ 当期純利益	投資有価証券売却益4,006百万円、HDD用サスペンション事業撤退関連費用549百万円、固定資産減損損失567百万円、訴訟和解金3,955百万円他を計上。

単位：百万円	2024年3月期 第3四半期 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	前年同期比	
売上高	38,539	47,124	+8,585	+22.3%
営業利益	▲2,426	2,090	+4,516	-
経常利益	▲1,837	1,661	+3,499	-
当期純利益	▲3,853	87	+3,941	-
一株当たり利益	▲127.65	2.91		
平均為替レート	143.3円/ドル 155.3円/1-円	152.6円/ドル 164.8円/1-円		

対前四半期比(2Q比)

✓ EV関連製品	EV販売停滞の影響を受け売上高、営業利益共に2Q比で微減。
✓ 電子情報通信分野	データセンター向け需要回復に伴う増収に加え、HDD用サスペンションの訴訟対応費用の減少等による増益。
✓ 既存自動車分野	メキシコ子会社の改善等により増益。

四半期別業績の推移



2025年3月期第3四半期 事業別売上高・営業利益

対前年同期比

✓ EV関連製品	< 売上高 >	EV販売停滞の影響により前年同期比▲13.5%減収
	< 営業利益 >	上記減収による利益低下を生産性改善により挽回。前年同期比+61百万円増益。
✓ 電子情報通信分野		HDD用サスペンション データセンター向け需要が回復基調であり前年同期比+97.7%増収。
	< 売上高 >	プリンター関連 需要が堅調であり前年同期比+22.2%増収。
		通信関連 データセンター向け需要が回復基調であり、北米・アジアで前年同期比+200.9%大幅増収。
	< 営業利益 >	上記増収に伴う増益に加え、HDD用サスペンションの訴訟案件和解による訴訟対応費用の減少等による増益。
✓ 既存自動車分野	< 売上高 >	材料関連 主要顧客の需要増加により前年同期比+24.4%増収。
		自動車関連 自動車生産は回復傾向だが、日本の販売停滞の影響により前年同期比▲6.0%減収。
	< 営業利益 >	メキシコ子会社の改善他による増益。

事業別売上高・営業利益 (単位：百万円)	2024年3月期第3四半期		2025年3月期第3四半期		前年同期比			
	実績		実績					
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
連結合計	38,539	▲2,426	47,124	2,090	+8,585	+22.3%	+4,516	-
EV関連製品	2,849	▲55	2,464	5	▲384	▲13.5%	+61	-
電子情報通信分野	10,108	▲2,800	18,817	1,489	+8,708	+86.1%	+4,290	-
HDD用サスペンション	6,074	-	12,006	-	+5,932	+97.7%	-	-
プリンター関連	2,595	-	3,171	-	+575	+22.2%	-	-
通信関連	1,054	-	3,173	-	+2,118	+200.9%	-	-
その他	384	-	465	-	+81	+21.2%	-	-
既存自動車分野	25,580	430	25,842	594	+261	+1.0%	+164	+38.1%
材料関連	5,906	-	7,349	-	+1,442	+24.4%	-	-
自動車関連	19,674	-	18,493	-	▲1,180	▲6.0%	-	-

2025年3月期第3四半期 連結貸借対照表

➤ 対前期末比

✓ 固定資産減少	売却による投資有価証券▲3,224百万円
✓ 流動負債増加	買掛金+1,310百万円、短期借入金▲1,769百万円、未払費用+919百万円
✓ 固定負債増加	長期借入金+1,979百万円、繰延税金負債▲921百万円
✓ 純資産減少	当期純利益87百万円、配当金▲304百万円、その他有価証券評価差額▲2,214百万円

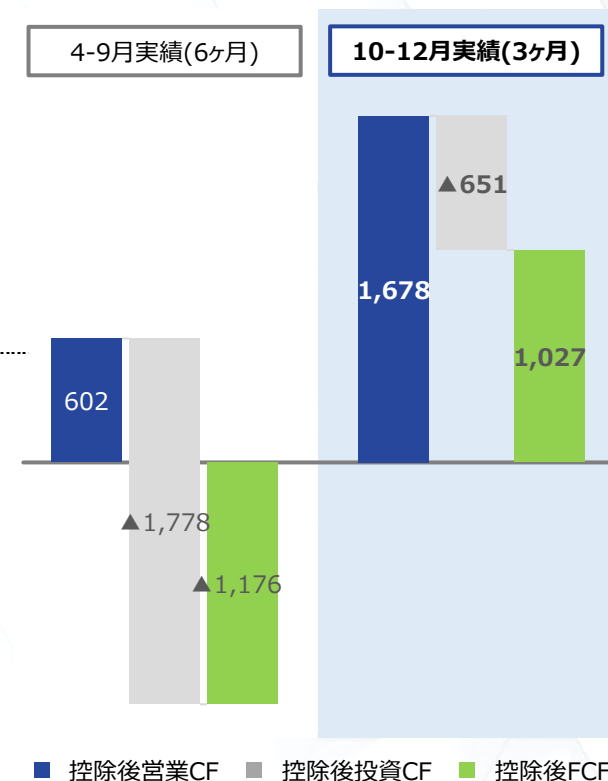
単位：百万円	2024年3月期末 実績	2025年3月期 第3四半期 実績	前期末比	
流動資産	31,648	34,286	+2,637	+8.3%
現預金	7,422	7,658	+235	+3.2%
売上債権	11,721	15,388	+3,666	+31.3%
棚卸資産	10,816	9,425	▲1,391	▲12.9%
固定資産	28,798	25,126	▲3,671	▲12.8%
総資産	60,447	59,413	▲1,034	▲1.7%
負債合計	31,095	32,721	+1,625	+5.2%
流動負債	24,584	25,048	+463	+1.9%
有利子負債	12,765	11,575	▲1,190	▲9.3%
固定負債	6,510	7,672	+1,161	+17.8%
有利子負債	2,023	4,112	+2,088	+103.2%
純資産合計	29,351	26,692	▲2,659	▲9.1%
負債純資産合計	60,447	59,413	▲1,034	▲1.7%

➤ 2Q累計(4-9月)比

✓ 営業CF	主に業績回復に伴う収益の増加により、訴訟和解金の支払いを除くと、10-12月(3ヶ月)営業CFは16.7億円であり、4-9月(6ヶ月)実績比+10.7億円改善
✓ FCF	上記和解金支払いに加え、投資有価証券売却による収入40.5億円を除くと、10-12月(3ヶ月)FCFは10.2億円であり、4-9月(6ヶ月)実績比+22.0億円改善

キャッシュ・フロー (単位：百万円)	2025年3月期			2025年3月期 3Q累計 (4-12月)
	2Q累計 (4-9月)	3Q (10-12月)	比較 3Q - 2Q累計	
営業活動によるキャッシュフロー	▲1,397	▲306	+1,090	▲1,704
投資活動によるキャッシュフロー	2,272	▲651	▲2,923	1,621
財務活動によるキャッシュフロー	▲103	344	+447	241
フリー・キャッシュ・フロー	875	▲957	▲1,833	▲82
上記のうち一過性事項				
①その他特別損失の支払(和解金)	▲2,000	▲1,985	-	▲3,985
②投資有価証券売却による収入	4,050	0	-	4,050
上記一過性事項を控除				
①を除く営業キャッシュフロー	602	1,678	+1,076	2,281
②を除く投資キャッシュフロー	▲1,778	▲651	+1,126	▲2,429
控除後フリー・キャッシュ・フロー	▲1,175	1,027	+2,203	▲147

➤ ※1※2 控除後フリー・キャッシュ・フロー



AGENDA

I. 2025年3月期第3四半期 決算概要

II.2025年3月期 業績見通し

11月8日公表予想を上方修正

対前回予想比(対11/8公表予想)

✓ 売上高	データセンター向け投資拡大が継続しており、光通信用コネクタ・アダプタ製品等の通信関連の売上高が前回予想を上回る水準で推移。前回予測比+20.0億円増収見込み。
✓ 営業利益 ✓ 経常利益	上記の増収による収益改善に加え、自動車関連製品の原材料価格・エネルギーコスト等上昇分の価格転嫁促進による採算性改善、HDD用サスペンションの訴訟案件和解による訴訟対応費用の減少等により前回予測比+25.0億円増益見込み。
✓ 当期純利益	前回織込み済みであるHDD用サスペンション事業撤退の特別損失に加え、海外子会社の税金費用の増加等があるものの、上記の状況から前回予想比+10.0億円増益見込み。

通期業績予想 (単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期							
	実績		前回予想(11/8公表)		通期予想		対前期比		対前回予想(11/8公表)	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	通期		通期	
売上高	26,327	51,496	30,719	61,000	32,719	63,000	+11,504	+22.3%	+2,000	+3.3%
営業利益	▲2,136	▲3,542	873	900	3,373	3,400	+6,942	-	+2,500	+277.8%
経常利益	▲1,858	▲2,692	721	400	3,221	2,900	+5,592	-	+2,500	+625.0%
当期純利益	▲11,135	▲11,816	▲1,731	▲2,800	▲731	▲1,800	+10,016	-	+1,000	-
一株当たり利益	▲370.03	▲392.69	▲57.41	▲92.88	15.56	▲19.90				
平均為替レート	148.2円/ﾄﾞﾙ	144.6円/ﾄﾞﾙ	145.0円/ﾄﾞﾙ	148.8円/ﾄﾞﾙ	152.2円/ﾄﾞﾙ	152.4円/ﾄﾞﾙ				
	160.2円/1-円	156.8円/1-円	155.0円/1-円	160.5円/1-円	160.3円/1-円	163.1円/1-円				

➤ 対前回予想比(対11/8公表予想)

✓ EV関連製品	< 売上高 >	EV車販売停滞の影響により前回予測比▲1.5億円減収見込み。
	< 営業利益 >	生産性改善により赤字幅縮小見込み。
✓ 電子情報通信分野	< 売上高 >	データセンター向け投資拡大継続により前回予測比+21.0億円増収見込み。
	< 営業利益 >	上記増収に加え、HDD用サスペンション訴訟案件和解による訴訟対応費用の減少等により大幅増益見込み。
✓ 既存自動車分野	< 売上高 >	微増だが概ね予測通りに推移。
	< 営業利益 >	原材料価格・エネルギーコスト等上昇分の価格転嫁促進による採算性改善により増益。

事業別売上高・営業利益 (単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期							
	実績		前回予想(11/8公表)		通期予想		対前年比		対11/8前回予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	51,496	▲3,542	61,000	900	63,000	3,400	+11,503	+6,942	+2,000	+2,500
EV関連製品	3,612	▲164	3,600	▲130	3,450	▲50	▲162	+114	▲150	+80
電子情報通信分野	13,954	▲3,901	23,300	580	25,400	2,620	+11,445	+6,521	+2,100	+2,040
HDD用サスペンション	8,679	-	14,800	-	16,100	-	+7,420	-	+1,300	-
プリンター関連	3,315	-	4,100	-	4,200	-	+884	-	+100	-
通信関連	1,451	-	3,900	-	4,600	-	+3,148	-	+700	-
その他	508	-	500	-	500	-	▲8	-	+0	-
既存自動車分野	33,928	523	34,100	450	34,150	830	+221	+306	+50	+380
材料関連	7,950	-	9,600	-	9,600	-	+1,649	-	+0	-
自動車関連	25,978	-	24,500	-	24,550	-	▲1,428	-	+50	-

➤ GGP24中計財務・資本戦略

最適な資本構成を意識したBSマネジメントを推進すべく、自己資本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施。

➤ 配当方針

✓ GGP24中計	ROE9.0%を超過するまでは配当性向75%を維持					
✓ 2023年3月期 ✓ 2024年3月期	ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする（配当下限は20円を継続）					
✓ 2025年3月期	2024年9月27日公表のHDD用サスペンション事業撤退を踏まえ、当社事業の取り巻く経営環境はGGP24発表当初より大きく変動している。足元の業績は改善傾向にあるが、通期では当期純損失となる見込みであり配当については0円とする。					
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 予想(8/9)	2025年3月期 予想(11/8)	2025年3月期 今回予想
中間配当	9円	11円	10円	0円	0円	0円
期末配当	11円	9円	10円	10円	0円	0円
年間配当合計	20円	20円	20円	10円	0円	0円

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

今後、当社としては事業基盤の再構築と収益性の向上に向けた取り組みを進め、業績回復に努めてまいります。

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

